



昭和53年度指定 高指第41号

(故)大塚 栄二

生年／大正8年 指定技術名／銅器・焼型



ちゅうどうふきわけびん

鑄銅吹分花瓶

焼型鑄造技術に優れた技を持ち、鑄造技術のエキスパートとして長年業界の指導にあたる。また、積極的に鑄造技術の研究や鑄型の改良を行い、鑄肌の美しい製品づくりに努めるとともに、いち早く吹分技法に取り組むなど、その卓越した技は業界からも高い評価を得ている。

昭和40年作 素材・技法／青銅、白銅・焼型鑄造 寸法／高さ80cm×幅18cm×奥行18cm

[経歴]

- 昭和 7年 伯父の大塚留吉、高坂亀次郎氏に師事し焼型鑄造技術を習得
- 昭和32年 高岡市金属指導所に勤務し一層の技術改善に励み、業界においても数少ない吹分技法を修得する
- 昭和54年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定